

八雲町×学校法人上智学院 連携協定を締結 持続可能な開発目標(SDGs)の実現を！

3月22日、上智大学(東京都千代田区)で、上智学院理事長高祖敏明氏と岩村町長のほか、この交流の懸け橋となった株式会社ジェーシー・コムサの大河原毅代表取締役CEO、関係者が臨席する中、八雲町と学校法人上智学院が連携協定の締結式を行いました。上智大学とは、平成27年から交流を行っており、平成29年度は、上智大学の学生が八雲町に訪れ、農業・漁業体験や八雲高校の生徒との交流を行いました。今後も、域学交流プログラムに加え、お互いの発展のために連携を深める活動を行う予定となっています。



八雲町内で4カ所目！ 北海道新幹線、立岩トンネル 山崎工事 安全祈願

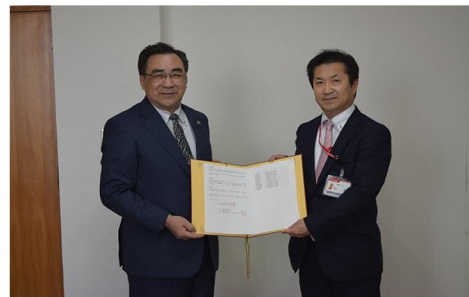
2月22日、北海道新幹線札幌延伸に向け、八雲町内4カ所目の本格的な工事着手となる立岩トンネル山崎工事(山崎)の安全祈願が実施されました。

式は工事を請け負う4社の共同企業体が主催し、発注者の鉄道・運輸機構や山崎1区、2区町内会など地元関係者約40名が工事の安全を祈りました。本工事は立岩トンネル全延長約17kmのうち約5kmの区間を担当し2024年春の完成を目指しています。



八雲町×郵便局 包括的連携に関する協定を締結 安心して暮らせる 地域づくりを目指して

八雲町と町内郵便局は、これまでも災害発生時における八雲町と八雲町内郵便局の協力に関する協定、地域協力に関する協定(高齢者等の見守り、道路損傷等の情報提供など)を締結していましたが、これまでの連携関係を発展させるため、3月20日に町内郵便局と包括的連携に関する協定を締結しました。この協定は、八雲町と町内の郵便局10局が人的・物的資源を活用し、地域社会の安心安全の確保及び活性化並びに町民サービスの向上を図ることを目的としています。今後は、この協定に基づいて郵便局との連携をさらに強化し、町のPRや地域の活性化などの取り組みの推進を図ります。



大きく育て、帰ってきてね！ ユーラップ川自然体験学習会 鮭の稚魚観察会

3月23日、国立八雲さけます事業所とユーラップ川上流域(鮭誕橋)で鮭の稚魚観察会が行われました(主催：教育委員会)。参加者は、事業所において人工授精でこの冬に誕生した鮭の稚魚へ給餌体験をした後、川に放流できるサイズとなった稚魚を放流し、鮭誕橋では、実際に自然の中で生活する稚魚の様子を水中カメラで観察を行い、ユーラップ川の自然について学びました。八雲地域では、さけます事業所やほかの孵化場と合わせ、1600万匹が放流されており、大きくなってふるさとに帰るのは、例年、3~5%程度となっています。

